

学校コード

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

認可

注2
広島県公立大学法人
叡啓大学

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書

広島県公立大学法人
令和4年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	教育企画課
職名・氏名	シュニン ヤブモトリコ 主任 藪本典子
電話番号	082-225-6312
（夜間）	082-225-6312
e-mail	academic-planning@eikei.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
- 例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
- 表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
- 例)
- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
 - 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
 - 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
 - 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
 - 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
 - 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
 - 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
 - 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

ソーシャルシステムデザイン学部

＜ソーシャルシステムデザイン学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	37
7. その他全般的事項	41

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

広島県公立大学法人

(2) 大学名

叡啓大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒730-0016
広島県広島市中区鞆町1-5

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ツチヤ サダユキ) 土屋 一定之 (令和3年4月1日)	(モリナガ ツトム) 森永 力 (代行) (令和4年5月1日)	一身上の都合によりR4.4.30付で退職。地方独立行政法人法第14条の規定により、法人が行う事務・事業に関して高度な知識・経験する者などの中から、知事が任命する予定。次期理事長が任命されるまでの間、広島県公立大学法人定款第9条第4項の規定に基づき副理事長である県立広島大学森永力学長がR4.5.1付で理事長職務代行者となり理事長の職務を行う(4)
学長	(アリノブ ムツヒロ) 有信 睦宏 (令和3年4月1日)		
学部長	(ヤスイ トシユキ) 保井 俊之 (令和3年4月1日)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
ソーシャルシステムデザイン学部 ソーシャルシステムデザイン学科 学士（学術）	文学関係 経済学関係 理学関係	4 年	100 人	- 人	400 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	80人 [20]	20人 [19]	80人 [20]	20人 []	0.97倍	—	その他の学期（秋季入学）は、5月1日現在では未確定のため、令和4年度の入学定員超過率及び平均入学定員超過率は、令和4年度春季までの入学定員と入学者数により算出した。
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	166 [2]	20 [19]	117 [8]	() []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	149 [2]	15 [14]	107 [6]	() []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	90 [2]	11 [10]	93 [3]	() []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	86 [2]	8 [7]	80 [2]	() []			
入学定員超過率 B/A							0.94		1.00				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください）。
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	85 (-)	8 (-)	80 (-)	8 (-)	令和3年度は開学年度であり、春季入学のみ確定。その他の学期の入学定員：20(3) 令和3年度春季入学者1名が退学したため、修正。令和3年度秋入学者数を追記(4)
2 年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	85 (-)	[] (-)	
3 年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4 年次	/		/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	93 [7] (-)	173 [10] (-)			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
令和元年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	86 人	1 人	平成30年度	0 人	- 人	
			令和元年度	0 人	- 人	
			令和2年度	0 人	- 人	
			令和3年度	1 人	- 人	・他の教育機関への進路再考(1)
令和4年度	173 人	0 人	平成30年度	0 人	- 人	
			令和元年度	0 人	- 人	
			令和2年度	0 人	- 人	
			令和3年度	0 人	- 人	
			令和4年度	0 人	- 人	
合計		1 人		1 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{86} = \boxed{1.16} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{173} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、〔 〕内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	Introduction to Data Science B/ データサイエンス概論B	2	2・3②・④	専門	選択	現状の学生の理解度及び教育の質の維持に鑑みて、当該科目（配当年次（2・3②・④））について、今年度は未開講とし、令和5年度から開講する。なお、当該科目を履修するにあたっての前提科目を含め履修順序を考慮しており、教育上の支障はない。（当該科目は基本ツール科目の中で「基盤科目」に配置し、入門科目である「データサイエンス概論A」を確実に修得した後での履修が望まれるため、令和5年度からの開講予定とした。）
2	Data Analysis and Statistical modeling/ データ分析と統計モデリング	2	2・3①・③	専門	選択	現状の学生の理解度及び教育の質の維持に鑑みて、当該科目（配当年次（2・3①・③））について、今年度は未開講とし、令和5年度から開講する。なお、当該科目を履修するにあたっての前提科目を含め履修順序を考慮しており、教育上の支障はない。（当該科目は基本ツール科目の中で「基盤科目」に配置し、入門科目である「データサイエンス概論A」を確実に修得した後での履修が望まれるため、令和5年度からの開講予定とした。）
3	Practical Data Science/ データサイエンス実践論	2	2・3②・④	専門	選択	教育の質の維持及び教育効果の向上の観点から鑑みて、当該科目（配当年次2・3②・④）について、隔年開講に変更し、今年度は未開講とし、令和5年度に開講する。なお、当該科目は応用科目であり、前提科目を履修してからの学びとなるよう履修順序に配慮しているため、教育上の支障はない。（当該科目は基本ツール科目の中で「基盤科目」に配置し、可能な限り、入門科目である「データサイエンス概論A」を履修した後での履修が望まれるため、令和5年度からの開講予定とした。）
4	AI and Business Application/ AIビジネス活用論	2	2・3②・④	専門	選択	教育の質の維持及び教育効果の向上の観点から鑑みて、当該科目（配当年次2・3②・④）について、隔年開講に変更し、今年度は未開講とし、令和5年度に開講する。なお、当該科目は応用科目であり、前提科目を履修してからの学びとなるよう履修順序に配慮しているため、教育上の支障はない。（当該科目は、可能な限り「人工知能概論」を修得した後での履修が望まれるため、令和5年度からの開講予定とした。）

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

ICT・データサイエンスに係る授業科目の一部「Introduction to Data Science B/データサイエンス概論B（2・3②・④）」「Data Analysis and Statistical modeling/データ分析と統計モデリング（2・3①・③）」「Practical Data Science/データサイエンス実践論（2・3②・④）」「AI and Business Application/AIビジネス活用論（2・3②・④）」について、現状の学生の理解度や教育の質を考慮し、一部開講時期を遅らせて対応することとしているが、前提科目との履修順序について考慮しており、教育上の支障はないと考える。学生に対してはポータルシステム及びシラバスにおいて確実に周知を行う。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{4}{98} = \boxed{4.08} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容				備考		
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	県立広島大学（必要面積23,000㎡）と共用（運動場までの所要時間：バス30分、徒歩5分、距離：6.5km）		
	校舎敷地	2,193㎡	1,030㎡	135,032㎡	138,255㎡			
	運動場用地	0㎡	5,729㎡	39,875㎡	45,604㎡			
	小計	2,193㎡	6,759㎡	174,907㎡	183,859㎡			
	その他	0㎡	2,022㎡	119,835㎡	121,857㎡			
合計	2,193㎡	8,781㎡	294,742㎡	305,716㎡				
(2) 校舎	専用	8,677㎡	3,333㎡	83,473㎡	95,483㎡	県立広島大学（必要面積23,000㎡）と共用		
	(8,677㎡)	(3,333㎡)	(83,473㎡)	(95,483㎡)				
(3) 教室等	講義室	16室	1室	0室	0室	大学全体		
				(補助職員 0人)	(補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室数					
	ソーシャルシステムデザイン学部 ソーシャルシステムデザイン学科		26 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	<p>県立広島大学広島キャンパス共用分を含む図書36,000冊〔0冊〕</p> <p>左記以外に、年間利用型電子図書（外国書）14万タイトル及び電子ジャーナルデータベース（外国書）18,900タイトルを利用する。</p> <p>機械・器具の点数の増は、開学時までに確定した対象の部屋、AV機器、装置等について、精算に再集計をしたためである。(3)</p> <p>図書・学術雑誌について、申請時に予定していた冊数の一部の納品が間に合っていないため、学年完成時までに予定冊数まで購入できるよう鋭意準備を進めている。開講科目に係る書籍は一通り揃っており、現時点では学生の教育に支障はない。(3)</p> <p>令和3年度末にて、ほぼ予定冊数の購入を完了しており、引き続き必要図書の購読を行う。(4)</p> <p>視聴覚資料の当初の計画点数が80に対して、32点へと変更した。</p> <p>理由としては、購入したデータベース（Academic OneFile）に647の視聴覚資料が含まれているため、実質としては80点を超える視聴覚資料を利用できる状況にあるため。(4)</p>
	ソーシャルシステムデザイン学部	42,600 [3,250]	48 [18]	7 [7]	32 89	3,706 1,662	0	
	計	(41,981 [3,060]) (-38,548 [-1,229]) (-38,640 [-1,300])	(53 [9]) (4 [4]) (48 [18])	(28 [1]) (4 [4]) (7 [7])	(32)	3,706 (1,662)	(0)	
(6) 図書館	面積	閲覧座席数		収納可能冊数		県立広島大学広島キャンパス図書館の共用（3,333㎡、291席、258,111冊を含む）		
		3,575㎡	333	273,111				
(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要				県立広島大学広島キャンパスの体育館の共用（所要時間：バス20分、徒歩5分、距離：5km）		
		1,948㎡	-					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	<p>図書購入費は、電子ジャーナルの整備費（運用費）は含むが、年間利用型電子図書利用料、電子ジャーナルデータベース利用料及びオンラインデータベース利用料を除く額。</p> <p>・教員1人当たり研究費、共同研究費等の差額については、法人予算の関係上、減額となった。(4)</p> <p>・（開設前年度）図書購入費、（開設前年度）設備購入費は、昨年度の5月提出時点での未確定部分があり、令和2年度決算を踏まえ確定部分を反映した。(4)</p> <p>・図書購入費の見積額と実績額との差額は、納品遅延のため年度内納品とならなかったため、及び予定より安値で購入できたためであるが、この納品遅延による、教育上の支障はない。(4)</p> <p>・開設前年度の設備購入費の見積額と実績額との差額は、予定より安値で購入できたためである。(4)</p> <p>・開設年度の設備購入費の見積額と実績額との差額は、教育の充実のための必要設備の追加購入によるものである。(4)</p>
	教員1人当たり研究費等	400千円 500千円	500千円	図書購入費	30,055千円 37,433千円	22,935千円 30,878千円	5,000千円	
	共同研究費等	4,016千円 5,000千円	5,000千円	設備購入費	204,999千円 207,618千円	125,756千円 100,000千円	5,000千円	
学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		※学生納付金は、上段が県内の学生、下段が県外からの学生
	818千円 931千円	536千円 536千円	536千円 536千円	536千円 536千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		広島県からの運営費交付金等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	観啓大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
ソーシャルシステムデザイン学部 ソーシャルシステムデザイン学科	4	100	0	400	学士(学術)	0.97	0.94	-	令和3	広島県広島市中区鞆町1-5	その他の学期(秋季入学)の入学定員が20名で、令和4年5月1日現在では令和4年度入学者数は未確定のため、令和4年度春季入学者までの状況で算出した。(春季入学定員を80名で算出)

大学の名称	県立広島大学						学生募集停止学科数	11	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
人間文化学部	4	120	0	480	-	-	-	-	平成17	-	
国際文化学科	4	85	0	340	学士(国際文化学)	-	-	-	平成17	広島市南区宇品東1-1-71	令和2年4月学生募集停止
健康科学科	4	35	0	140	学士(健康科学)	-	-	-	平成17	同上	令和2年4月学生募集停止
経営情報学部	4	100	0	400	-	-	-	-	平成17	-	
経営学科	4	60	0	240	学士(経営学)	-	-	-	平成17	同上	令和2年4月学生募集停止
経営情報学科	4	40	0	160	学士(経営情報学)	-	-	-	平成17	同上	令和2年4月学生募集停止
生命環境学部	4	165	0	660	-	-	-	-	平成17	-	
生命科学科	4	110	0	440	学士(生命科学)	-	-	-	平成17	庄原市七塚町5562	令和2年4月学生募集停止
環境科学科	4	55	0	220	学士(環境科学)	-	-	-	平成17	同上	令和2年4月学生募集停止
保健福祉学部	4	190	0	760	-	-	-	-	平成17	-	
看護学科	4	60	0	240	学士(看護学)	-	-	-	平成17	三原市学園町1-1	令和3年4月学生募集停止
理学療法学科	4	30	0	120	学士(理学療法学)	-	-	-	平成17	同上	令和3年4月学生募集停止
作業療法学科	4	30	0	120	学士(作業療法学)	-	-	-	平成17	同上	令和3年4月学生募集停止
コミュニケーション障害学科	4	30	0	120	学士(コミュニケーション障害学)	-	-	-	平成17	同上	令和3年4月学生募集停止
人間福祉学科	4	40	0	160	学士(人間福祉学)	-	-	-	平成17	同上	令和3年4月学生募集停止
地域創生学部	4	200	0	800	-	1.07	1.08	-	令和2	-	
地域創生学科	4	200	0	800	-	1.07	1.08	-	令和2	広島市南区宇品東1-1-71	

4. 既設大学等の状況

地域文化コース	4	75	0	300	学士 (地域創生学)	1.07	1.09	-	令和2	同上
地域産業コース	4	90	0	360	学士 (地域創生学)	-	-	-	令和2	同上
健康科学コース	4	35	0	140	学士 (地域創生学)	1.05	1.02	-	令和2	同上
生物資源科学部	4	140	0	560	-	1.02	1.02	-	令和2	-
地域資源開発学科	4	40	0	160	学士 (地域資源開発学)	1.03	1.05	-	令和2	庄原市七塚町5562
生命環境学科	4	100	0	400	学士 (生命環境学)	1.02	1.01	-	令和2	同上
保健福祉学部	4	190	0	760	-	1.02	1.02	-	令和3	-
保健福祉学科	4	190	0	760	-	1.02	1.02	-	令和3	三原市学園町1-1
看護学コース	4	60	0	240	学士 (保健福祉学)	1.04	1.03	-	令和3	同上
理学療法学コース	4	30	0	120	学士 (保健福祉学)	1.00	1.00	-	令和3	同上
作業療法学コース	4	30	0	120	学士 (保健福祉学)	1.01	1.03	-	令和3	同上
コミュニケーション障害学コース	4	30	0	120	学士 (保健福祉学)	1.00	1.00	-	令和3	同上
人間福祉学コース	4	40	0	160	学士 (保健福祉学)	1.04	1.02	-	令和3	同上
大学全体	-	530	0	2120	-	-	-	-	-	-
大学全体	-	255	0	1020	-	-	-	-	-	-

大学の名称	県立広島大学大学院				学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考	
	年	人	年次	人						
大学院総合学術研究科	2	80	0	170	-	0.77	0.81	-	平成17	広島市南区宇品東1-1-71
人間文化学部専攻	2	10	0	20	修士 (人間文化学)	1.00	1.00	-	平成17	同上
情報マネジメント専攻	2	10	0	20	修士 (情報マネジメント学)	0.55	0.60	-	平成17	同上
生命システム科学専攻 (博士課程前期)	2	30	0	60	修士 (生命システム科学)	0.60	0.60	-	平成17	庄原市七塚町5562
保健福祉学専攻 (博士課程前期)	2	20	0	40	修士 (保健福祉学)	1.05	1.05	-	平成17	三原市学園町1-1
生命システム科学専攻 (博士課程後期)	3	5	0	15	博士 (生命システム科学)	1.00	1.00	-	平成17	庄原市七塚町5562
保健福祉学専攻 (博士課程後期)	3	5	0	15	博士 (保健福祉学)	1.00	1.00	-	令和4	三原市学園町1-1
経営管理研究科	2	25	0	50	-	1.18	1.24	-	平成28	広島市南区宇品東1-1-71
ビジネス・リーダーシップ専攻	2	25	0	50	経営修士 (専門職)	1.18	1.24	-	平成28	同上
大学院全体	-	105	0	220	-	-	-	-	-	-

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<ソーシャルシステムデザイン学部 ソーシャルシステムデザイン学科>

(1) - ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授(学長)	アリガ ムヒロ 有信 睦弘 (73) <令和3年4月> 工学博士 SDGs, the world and us/ 持続可能な世界と私たち~SDGsの達成に向けて~※
専	教授	ウエキ ヲコ 上杉 裕子 (54) <令和3年4月> 博士(学術) Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Listening English I/リスニング英語 I Writing English I/ライティング英語 I Reading English I/リーディング英語 I Speaking English I/スピーキング英語 I Listening English II/リスニング英語 II Writing English II/ライティング英語 II Reading English II/リーディング英語 II Speaking English II/スピーキング英語 II Communicative English/ コミュニカティブイングリッシュ
専	教授	カネ マサ 笠木 雅史 (44) <令和3年4月> Doctor of Philosophy (カナダ) Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Introduction to Philosophy and Ethics/哲学・倫理学入門 Philosophy and Ethics/哲学・倫理学 Logical Thinking/ロジカルシンキング

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授(学長)	アリガ ムヒロ 有信 睦弘 (74) <令和3年4月> 工学博士 SDGs, the world and us/ 持続可能な世界と私たち~SDGsの達成に向けて~※
専	教授	ウエキ ヲコ 上杉 裕子 (54) <令和3年4月> 博士(学術) Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Listening English I/リスニング英語 I Writing English I/ライティング英語 I Reading English I/リーディング英語 I Speaking English I/スピーキング英語 I Listening English II/リスニング英語 II Writing English II/ライティング英語 II Reading English II/リーディング英語 II Speaking English II/スピーキング英語 II Communicative English/ コミュニカティブイングリッシュ

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授(学長)	アリガ ムヒロ 有信 睦弘 (75) <令和3年4月> 工学博士 SDGs, the world and us/ 持続可能な世界と私たち~SDGsの達成に向けて~※
専	教授	ウエキ ヲコ 上杉 裕子 (55) <令和3年4月> 博士(学術) Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Listening English I/リスニング英語 I Writing English I/ライティング英語 I Reading English I/リーディング英語 I Speaking English I/スピーキング英語 I Listening English II/リスニング英語 II Writing English II/ライティング英語 II Reading English II/リーディング英語 II Speaking English II/スピーキング英語 II Communicative English/ コミュニカティブイングリッシュ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	イムラ ケンセイ 石村 源生 (52) <令和3年4月> 博士(教育学)
		Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Introduction to Ethics of Science and Technology/ 科学技術倫理入門※ History of Science and Technology/科学技術史 Japanese Academic Writing/日本語アカデミックライティング
専	教授(学部長)	ヤシ トユキ 保井 俊之 (58) <令和3年4月> 博士(学術)
		Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Public Management Theory/公共経営論 Studies in Socioeconomic System /社会経済システム論 SDGs, the world and us/ 持続可能な世界と私たち～SDGsの達成に向けて～※ Introduction to Social System Design/ソーシャルシステムデザイン入門
専	教授	イカ マサノ 石川 雅紀 (67) <令和5年4月> 工学博士
		Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Introduction to Economics/経済学入門 Industry and Business Model/ 産業・ビジネスモデル論 Environmental Economics/環境経済学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授(学部長)	ヤシ トユキ 保井 俊之 (58) <令和3年4月> 博士(学術)
		Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Public Management Theory/公共経営論 Studies in Socioeconomic System /社会経済システム論 SDGs, the world and us/ 持続可能な世界と私たち～SDGsの達成に向けて～※ Introduction to Social System Design/ソーシャルシステムデザイン入門
専	教授	イカ マサノ 石川 雅紀 (67) <令和3年4月> 工学博士
		Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Introduction to Economics/経済学入門 Industry and Business Model/ 産業・ビジネスモデル論 Environmental Economics/環境経済学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授(学部長)	ヤシ トユキ 保井 俊之 (59) <令和3年4月> 博士(学術)
		Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Public Management Theory/公共経営論 Studies in Socioeconomic System /社会経済システム論 SDGs, the world and us/ 持続可能な世界と私たち～SDGsの達成に向けて～※ Introduction to Social System Design/ソーシャルシステムデザイン入門
専	教授	イカ マサノ 石川 雅紀 (68) <令和3年4月> 工学博士
		Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Introduction to Economics/経済学入門 Industry and Business Model/ 産業・ビジネスモデル論 Environmental Economics/環境経済学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ベトコヴァ ガリトドローヴァ PETKOVA GALIA TODOROVA (50) <令和3年4月> PhD in Japanese studies (英国)
		Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Introduction to Art and Literature/芸術・文学入門 Japanese Culture Studies/日本文化論 Cross-Cultural Studies/異文化論
専	教授	ウレウハヨコ 瓜生原 葉子 (55) <令和3年4月> 博士(経営学)
		Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Introduction to Business Administration/経営学概論 Management Strategy and Organization Theory/経営戦略・組織論 Marketing Theory/マーケティング論 Healthcare Services/ヘルスケアサービス論 Introduction to Social Psychology/社会心理学概論※
専	教授	ラサル ミヒャエル カルフガング LASSALLE MICHAEL WOLFGANG (52) <令和4年4月> Doktor der Naturwissenschaften (ドイツ)
		Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Biodiversity/生物多様性論 Biotechnology/バイオテクノロジー論 Ecology/生態学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ベトコヴァ ガリトドローヴァ PETKOVA GALIA TODOROVA (50) <令和3年4月> PhD in Japanese studies (英国)
		Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Introduction to Art and Literature/芸術・文学入門 Japanese Culture Studies/日本文化論 Cross-Cultural Studies/異文化論
専	教授	ラサル ミヒャエル カルフガング LASSALLE MICHAEL WOLFGANG (52) <令和4年4月> Doktor der Naturwissenschaften (ドイツ)
		Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Biodiversity/生物多様性論 Biotechnology/バイオテクノロジー論 Ecology/生態学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ベトコヴァ ガリトドローヴァ PETKOVA GALIA TODOROVA (51) <令和3年4月> PhD in Japanese studies (英国)
		Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Introduction to Art and Literature/芸術・文学入門 Japanese Culture Studies/日本文化論 Cross-Cultural Studies/異文化論
専	教授	ラサル ミヒャエル カルフガング LASSALLE MICHAEL WOLFGANG (53) <令和4年4月> Doktor der Naturwissenschaften (ドイツ)
		Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Biodiversity/生物多様性論 Biotechnology/バイオテクノロジー論 Ecology/生態学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	ツフト ヤチ 土本 康生 (49) <令和3年4月> 博士 (政策・メディア)
		Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Introduction to ICT/ICT入門 Essential Programming/プログラミング入門 Information Delivery Method/情報発信技法
専	准教授	ツカガ ヨシア 早田 吉伸 (50) <令和3年4月> 博士 (システムデザイン・マネジメント学)
		Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Design Thinking , System Thinking/デザイン思考・システム思考 Regional Revitalization/地域活性化論 Regional Collaboration/地域協働論
専	准教授	オノ コウジ 小野 浩二 (66) <令和3年4月> Master of Science (Management Science) (英国)
		Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Finance/ファイナンス論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	ツフト ヤチ 土本 康生 (49) <令和3年4月> 博士 (政策・メディア)
		Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Introduction to ICT/ICT入門 Essential Programming/プログラミング入門 Information Delivery Method/情報発信技法
専	教授	ツカガ ヨシア 早田 吉伸 (50) <令和3年6月> 博士 (システムデザイン・マネジメント学)
		Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Design Thinking , System Thinking/デザイン思考・システム思考 Regional Revitalization/地域活性化論 Regional Collaboration/地域協働論
専	准教授	オノ コウジ 小野 浩二 (66) <令和3年4月> Master of Science (Management Science) (英国)
		Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Finance/ファイナンス論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	ツフト ヤチ 土本 康生 (50) <令和3年4月> 博士 (政策・メディア)
		Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Introduction to ICT/ICT入門 Essential Programming/プログラミング入門 Information Delivery Method/情報発信技法
専	教授	ツカガ ヨシア 早田 吉伸 (51) <令和3年6月> 博士 (システムデザイン・マネジメント学)
		Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Design Thinking , System Thinking/デザイン思考・システム思考 Regional Revitalization/地域活性化論 Regional Collaboration/地域協働論
専	准教授	オノ コウジ 小野 浩二 (67) <令和3年4月> Master of Science (Management Science) (英国)
		Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Finance/ファイナンス論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専任	准教授	田口 陽子 (40) <令和3年4月> 博士 (社会学)
		Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Introduction to Cultural Anthropology/文化人類学概論 Fieldwork Studies/フィールドワーク研究 Japanese Academic Writing/ 日本語アカデミックライティング
専任	准教授	加村 ジュン 粥川 准二 (51) <令和3年4月> 博士(社会学)
		Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Media Studies/メディア論 Introduction to Sociology/社会学概論 Introduction to Bioethics/生命倫理学概論 Introduction to Ethics of Science and Technology/ 科学技術倫理入門※
専任	講師	カスパレック ニコラス KASPAREK NICHOLAS RYAN (38) <令和3年4月> Master of Education Degree (米国)
		Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Listening English I/リスニング英語 I Writing English I/ライティング英語 I Reading English I/リーディング英語 I Speaking English I/スピーキング英語 I Listening English II/リスニング英語 II Writing English II/ライティング英語 II Reading English II/リーディング英語 II Speaking English II/スピーキング英語 II Academic Reading/アカデミックリーディング Presentation English/プレゼンテーションイングリッシュ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専任	准教授	田口 陽子 (40) <令和3年4月> 博士 (社会学)
		Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Introduction to Cultural Anthropology/文化人類学概論 Fieldwork Studies/フィールドワーク研究 Japanese Academic Writing/ 日本語アカデミックライティング
専任	准教授	加村 ジュン 粥川 准二 (51) <令和3年4月> 博士(社会学)
		Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Media Studies/メディア論 Introduction to Sociology/社会学概論 Introduction to Bioethics/生命倫理学概論 Introduction to Ethics of Science and Technology/ 科学技術倫理入門※
専任	講師	カスパレック ニコラス KASPAREK NICHOLAS RYAN (38) <令和3年4月> Master of Education Degree (米国)
		Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Listening English I/リスニング英語 I Writing English I/ライティング英語 I Reading English I/リーディング英語 I Speaking English I/スピーキング英語 I Listening English II/リスニング英語 II Writing English II/ライティング英語 II Reading English II/リーディング英語 II Speaking English II/スピーキング英語 II Academic Reading/アカデミックリーディング Presentation English/プレゼンテーションイングリッシュ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専任	准教授	田口 陽子 (41) <令和3年4月> 博士 (社会学)
		Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Introduction to Cultural Anthropology/文化人類学概論 Fieldwork Studies/フィールドワーク研究 Japanese Academic Writing/ 日本語アカデミックライティング
専任	准教授	加村 ジュン 粥川 准二 (52) <令和3年4月> 博士(社会学)
		Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Media Studies/メディア論 Introduction to Sociology/社会学概論 Introduction to Bioethics/生命倫理学概論 Introduction to Ethics of Science and Technology/ 科学技術倫理入門※
専任	講師	カスパレック ニコラス KASPAREK NICHOLAS RYAN (39) <令和3年4月> Master of Education Degree (米国)
		Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Listening English I/リスニング英語 I Writing English I/ライティング英語 I Reading English I/リーディング英語 I Speaking English I/スピーキング英語 I Listening English II/リスニング英語 II Writing English II/ライティング英語 II Reading English II/リーディング英語 II Speaking English II/スピーキング英語 II Academic Reading/アカデミックリーディング Presentation English/プレゼンテーションイングリッシュ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	せご もと 瀬古 素子 (48) <令和3年4月> Master of Science in Women's Studies (米国)
		Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Studies in Diversity and Multiculturalism/ 多文化共生社会論 Introduction to International Cooperation and Security/ 国際協力・安全保障概論※ Facilitation/ファシリテーション Project Management/ プロジェクトマネジメント

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	せご もと 瀬古 素子 (48) <令和3年4月> Master of Science in Women's Studies (米国)
		Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Studies in Diversity and Multiculturalism/ 多文化共生社会論 Introduction to International Cooperation and Security/ 国際協力・安全保障概論※ Facilitation/ファシリテーション Project Management/ プロジェクトマネジメント

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	せご もと 瀬古 素子 (49) <令和3年4月> Master of Science in Women's Studies (米国)
		Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Studies in Diversity and Multiculturalism/ 多文化共生社会論 Introduction to International Cooperation and Security/ 国際協力・安全保障概論※ Facilitation/ファシリテーション Project Management/ プロジェクトマネジメント
		かわ 真 川瀬 真紀 (55) <令和4年4月> Doctor of Philosophy in Work, Community, and Family Education (USA)
		Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Design Thinking, System Thinking/デザイン思考・システム思考
		ミス'シマ ノ'ミ 水島 希 (52) <令和3年10月> 博士(理学)
		Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Introduction to Ethics of Science and Technology/科学技術倫理入門 History of Science and Technology/科学技術史 Japanese Academic Writing/日本語アカデミックライティング

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専任	准教授	<p>かがね さくら 長岡 さくら (47) <令和3年7月> 博士(法学)</p> <p>Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Legal Mind/法的思考</p>
専任	准教授	<p>たけみ かつ 安富 洋 (50) <令和3年9月> Ph.D. in Social Sciences in the field of Political and Social Sciences (ベルギー)</p> <p>Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Peace Studies/平和論 Introduction to International Cooperation and Security/国際協力・安全保障概論</p>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専任	准教授	<p>かがね さくら 長岡 さくら (47) <令和3年7月> 博士(法学)</p> <p>Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Legal Mind/法的思考</p>
専任	准教授	<p>たけみ かつ 安富 洋 (50) <令和3年9月> Ph.D. in Social Sciences in the field of Political and Social Sciences (ベルギー)</p> <p>Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Peace Studies/平和論 Introduction to International Cooperation and Security/国際協力・安全保障概論</p>
専任	准教授	<p>ジョージ マイケル ヒギンボサム George Michael Higginbotham (48) <令和4年4月> Ph. D. Applied Linguistics (UK)</p> <p>Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Listening English I/リスニング英語 I Listening English II/リスニング英語 II Writing English I/ライティング英語 I Writing English II/ライティング英語 II Reading English I/リーディング英語 I Reading English II/リーディング英語 II Speaking English I/スピーキング英語 I Speaking English II/スピーキング英語 II Current English/カレントイングリッシュ Presentation English/プレゼンテーションイングリッシュ</p>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	モカ シルマイ Monika Szirmai (60) <令和3年4月> Doctor of Philosophy in Linguistic Science (ハンガリー)
		Listening English I/リスニング英語 I Speaking English I/スピーキング英語 I Listening English II/リスニング英語 II Speaking English II/スピーキング英語 II
兼任	講師	タニト ヒロユキ 谷本 秀康 (70) <令和3年4月> 博士(文学)
		Writing English I/ライティング英語 I Reading English I/リーディング英語 I Writing English II/ライティング英語 II Reading English II/リーディング英語 II
兼任	講師	アラン ジョン アスケル Aran John Askell (43) <令和3年4月> Master of Politics and Economics (英国)
		Basic English Presentation I/プレゼンテーション英語基礎 I Basic English Presentation II/プレゼンテーション英語基礎 II Academic Reading/アカデミックリーディング

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	タニト ヒロユキ 谷本 秀康 (71) <令和3年4月> 修士(文学)
		Listening English I/リスニング英語 I Writing English I/ライティング英語 I Reading English I/リーディング英語 I Listening English II/リスニング英語 II Writing English II/ライティング英語 II Reading English II/リーディング英語 II Current English/カレントイングリッシュ
兼任	講師	アラン ジョン アスケル Aran John Askell (43) <令和3年4月> Master of Politics and Economics (英国)
		Basic English Presentation I/プレゼンテーション英語基礎 I Basic English Presentation II/プレゼンテーション英語基礎 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		杉 俊樹 (54) <令和4年10月> 博士(知識科学)
専	教授	Introduction to Project Based Learning/課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習 IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習 IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習 II Degree Project/卒業プロジェクト Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム Introduction to Data Science A/データサイエンス概論A Introduction to Data Science B/データサイエンス概論B Data Analysis and Statistical modeling/データ分析と統計モデリング Data Visualization/データ可視化法 Practical Data Science/データサイエンス実践論 AI and Business Application/AIビジネス活用論 Introduction to Artificial Intelligence/人工知能概論
兼任	講師	杉 俊樹 (54) <令和4年4月> 博士(知識科学)
		Introduction to Data Science A/データサイエンス概論A
兼任	講師	タニト ヒロユキ 谷本 秀康 (72) <令和3年4月> 修士(文学)
		Listening English I/リスニング英語 I Listening English II/リスニング英語 II
兼任	講師	アラン ジョン アスケル Aran John Askell (44) <令和3年4月> Master of Politics and Economics (英国)
		Basic English Presentation I/プレゼンテーション英語基礎 I Basic English Presentation II/プレゼンテーション英語基礎 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	カロライン ジェーン ロイド Caroline Jane Lloyd (57) <令和3年4月> Master of Japanese Studies (英国)
		Basic English Presentation I/プレゼンテーション 英語基礎 I Basic English Presentation II/プレゼンテーショ ン英語基礎 II Academic Writing/アカデミックライティング
兼任	講師	クセン ルクサンドラ Cusen Ruxandra (36) <令和3年4月> Bachelor in English Language and Literature (ルーマニア)
		Basic English Presentation I/プレゼンテーション 英語基礎 I Basic English Presentation II/プレゼンテーショ ン英語基礎 II Communicative English/コミュニカティブイングリ ッシュ
兼任	講師	エドワード ケーパー ホランド Edward Cooper Howland (38) <令和3年4月> Master of TESOL (米国)
		Basic English Presentation I/プレゼンテーション 英語基礎 I Basic English Presentation II/プレゼンテーショ ン英語基礎 II Current English/カレントイングリッシュ
兼任	講師	ジネット ミ 吉本 由美 (54) <令和3年4月> Master of Arts in Anthropology (英国)
		Basic English Presentation I/プレゼンテーション 英語基礎 I Basic English Presentation II/プレゼンテーショ ン英語基礎 II Presentation English/プレゼンテーションイングリ ッシュ Japanese I/日本語 I Japanese II/日本語 II Japanese IV/日本語 IV
兼任	講師	シゲマル シンジ 重丸 伸二 (46) <令和3年4月> 博士(経営情報学)
		Introduction to ICT/ICT入門 Problem Solving with IoT/IoT利用による問題解決
兼任	講師	ウノ ケン 宇野 健 (51) <令和3年4月> 博士(工学)
		Essential Programming/プログラミング入門 Web Programming and Application Development/ ウェブプログラミングとアプリ開発

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	エドワード ケーパー ホランド Edward Cooper Howland (38) <令和3年4月> Master of TESOL (米国)
		Speaking English I/スピーキング英語 I Speaking English II/スピーキング英語 II
兼任	講師	ジネット ミ 吉本 由美 (54) <令和3年10月> Master of Arts in Anthropology (英国)
		Japanese II/日本語 II Japanese V/日本語 V
兼任	講師	シゲマル シンジ 重丸 伸二 (46) <令和3年10月> 博士(経営情報学)
		Introduction to ICT/ICT入門 Problem Solving with IoT/IoT利用による問題解決
兼任	講師	ウノ ケン 宇野 健 (51) <令和4年1月> 博士(工学)
		Essential Programming/プログラミング入門 Web Programming and Application Development/ ウェブプログラミングとアプリ開発

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	クセン ルクサンドラ Cusen Ruxandra (37) <令和5年4月> Bachelor in English Language and Literature (ルーマニア)
		Basic English Presentation I/プレゼンテーション 英語基礎 I Basic English Presentation II/プレゼンテーショ ン英語基礎 II
兼任	講師	ジネット ミ 吉本 由美 (55) <令和4年10月> Master of Arts in Anthropology (英国)
		Japanese I/日本語 I Japanese II/日本語 II Japanese IV/日本語 IV Japanese V/日本語 V
兼任	講師	シゲマル シンジ 重丸 伸二 (47) <令和4年10月> 博士(経営情報学)
		Problem Solving with IoT/IoT利用による問題解決
兼任	講師	ウノ ケン 宇野 健 (52) <令和4年10月> 博士(工学)
		Web Programming and Application Development/ ウェブプログラミングとアプリ開発
兼任	講師	オオタニ コウジ 大谷 幸三 (49) <令和4年10月> 博士(工学)
		Web Programming and Application Development/ ウェブプログラミングとアプリ開発 Problem Solving with IoT/IoT利用による問題解決

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		イムラ ヲミ 市村 匠 (53) <令和3年4月> 博士(工学)
		Introduction to Data Science A/データサイエンス概論A※ Data Analysis and Statistical modeling/データ分析と統計モデリング Data Visualization/データ可視化法 AI and Business Application/AIビジネス活用論 Mathematical Thinking/数学的思考法
兼任 講師		タムラ ケイイチ 田村 慶一 (45) <令和3年4月> 博士(情報科学)
		Introduction to Data Science B/データサイエンス概論B
兼任 講師		カマガシ シン 鎌田 真 (33) <令和4年4月> 博士(情報科学)
		Data Analysis and Statistical modeling/データ分析と統計モデリング Data Visualization/データ可視化法
兼任 講師		タケノコ ケン 竹本 康彦 (45) <令和4年4月> 博士(工学)
		Practical Data Science/データサイエンス実践論
兼任 講師		タケノコ ケン 田坂 逸朗 (56) <令和3年4月> 学士(経済学)
		Logical Thinking/ロジカルシンキング Design Thinking, System Thinking/デザイン思考・システム思考 Project Management/プロジェクトマネジメント Facilitation/ファシリテーション
兼任 講師		ウヰタ ユウジ 坪田 雄二 (59) <令和4年4月> 博士(心理学)
		Introduction to Social Psychology/社会心理学概論※
兼任 講師		トウダ テツジ 富田 哲治 (44) <令和3年4月> 博士(理学)
		Introduction to Mathematics/数学入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		イムラ ヲミ 市村 匠 (53) <令和4年4月> 博士(工学)
		Introduction to Data Science A/データサイエンス概論A※ Data Analysis and Statistical modeling/データ分析と統計モデリング Data Visualization/データ可視化法 AI and Business Application/AIビジネス活用論 Mathematical Thinking/数学的思考法
兼任 講師		タムラ ケイイチ 田村 慶一 (45) <令和4年7月> 博士(情報科学)
		Introduction to Data Science B/データサイエンス概論B
兼任 講師		カマガシ シン 鎌田 真 (32) <令和4年4月> 博士(情報工学)
		Data Analysis and Statistical modeling/データ分析と統計モデリング Data Visualization/データ可視化法
兼任 講師		タケノコ ケン 竹本 康彦 (44) <令和4年4月> 博士(工学)
		Practical Data Science/データサイエンス実践論
兼任 講師		タケノコ ケン 田坂 逸朗 (56) <令和3年10月> 学士(経済学)
		Logical Thinking/ロジカルシンキング Design Thinking, System Thinking/デザイン思考・システム思考 Project Management/プロジェクトマネジメント Facilitation/ファシリテーション
兼任 講師		ウヰタ ユウジ 坪田 雄二 (58) <令和4年4月> 博士(心理学)
		Introduction to Social Psychology/社会心理学概論※
兼任 講師		トウダ テツジ 富田 哲治 (45) <令和5年1月> 博士(理学)
		Introduction to Mathematics/数学入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		イムラ ヲミ 市村 匠 (54) <令和4年10月> 博士(工学)
		Mathematical Thinking/数学的思考法
兼任 講師		
兼任 講師		
兼任 講師		タケノコ ケン 田坂 逸朗 (57) <令和4年10月> 学士(経済学)
		Logical Thinking/ロジカルシンキング
兼任 講師		ウヰタ ユウジ 坪田 雄二 (59) <令和4年7月> 博士(心理学)
		Introduction to Social Psychology/社会心理学概論※
兼任 講師		トウダ テツジ 富田 哲治 (45) <令和5年1月> 博士(理学)
		Introduction to Mathematics/数学入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	ツグ ブン 辻 文 (37) <令和4年4月> 博士(体育科学)
		Introduction to Health Science/健康学入門
兼任	講師	チョン クン 鄭 銀志 (54) <令和3年4月> 博士(学術)
		Religion and History/宗教と歴史
兼任	講師	ハラ ナ 原 章 (47) <令和4年4月> 博士(工学)
		Introduction to Artificial Intelligence/人工知能概論
兼任	講師	トヤマ カキタ 戸田山 和久 (63) <令和4年4月> 哲学博士
		Introduction to Philosophy of Science/科学哲学概論
兼任	講師	オヤマ ケンジ 奥山 健二 (78) <令和4年4月> 学術博士
		Public Art/公共芸術論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	河本 直紀 (73) <令和4年1月> 博士(理学)
		Introduction to Mathematics/数学入門
兼任	講師	ハラ ナ 原 章 (46) <令和4年4月> 博士(工学)
		Introduction to Artificial Intelligence/人工知能概論
兼任	講師	トヤマ カキタ 戸田山 和久 (63) <令和4年4月> 哲学博士
		Introduction to Philosophy of Science/科学哲学概論
兼任	講師	オヤマ ケンジ 奥山 健二 (78) <令和4年4月> 学術博士
		Public Art/公共芸術論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	河本 直紀 (73) <令和5年1月> 博士(理学)
		Introduction to Mathematics/数学入門
兼任	講師	イトウ カキヒコ 齊藤 一彦 (52) <令和4年12月> 博士(教育学)
		Introduction to Health Science/健康学入門※
兼任	講師	シヤマ ケイ 柴山 章 (41) <令和4年12月> 博士(教育学)
		Introduction to Health Science/健康学入門※
兼任	講師	シライ トキ 白石 智也 (30) <令和4年12月> 博士(教育学)
		Introduction to Health Science/健康学入門※
兼任	講師	ニシイ ミチ 西井 美穂 (60) <令和4年10月> 博士(学術)
		Religion and History/宗教と歴史
兼任	講師	トヤマ カキタ 戸田山 和久 (63) <令和4年6月> 哲学博士
		Introduction to Philosophy of Science/科学哲学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	かつ たつた トシヒコ KATAGI THEODORE TOSHIHIKO (58) <令和4年4月> Masters of Business Administration (米国)
		Marketing Theory/マーケティング論
兼任	講師	かつ たつた 高橋 陽二 (42) <令和4年4月> 博士(商学)
		Finance/ファイナンス論
兼任	講師	ツキ マチ 露木 真也子 (55) <令和4年4月> 博士(学術)
		Social Entrepreneurship/社会起業家論
兼任	講師	リ スエイ 李 翠盈 (30) <令和4年4月> 修士(学術)
		Development Economics/開発経済学
兼任	講師	かわき けい 川崎 千枝見 (45) <令和3年4月> 修士(教育学)
		Japanese III/日本語Ⅲ Japanese V/日本語Ⅴ Japanese VI/日本語Ⅵ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	かつ たつた トシヒコ KATAGI THEODORE TOSHIHIKO (57) <令和4年4月> Masters of Business Administration (米国)
		Marketing Theory/マーケティング論
兼任	講師	かつ たつた 高橋 陽二 (41) <令和4年4月> 博士(商学)
		Finance/ファイナンス論
兼任	講師	ツキ マチ 露木 真也子 (55) <令和4年4月> 博士(学術)
		Social Entrepreneurship/社会起業家論
兼任	講師	リ スエイ 李 翠盈 (29) <令和4年4月> 修士(学術)
		Development Economics/開発経済学
兼任	講師	ほんもと ゆか 橋本 優香 (47) <令和3年10月> 日本語教育学(修士)
		Japanese I/日本語Ⅰ Japanese III/日本語Ⅲ Japanese IV/日本語Ⅳ Japanese VI/日本語Ⅵ
兼任	講師	りんせいの もり Rachel Rose Mora (23) <令和3年4月> B.A. in East Asian Studies(学士)
		Listening English I/リスニング英語Ⅰ Listening English II/リスニング英語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	こがみ ひとみ 香村 ひとみ (36) <令和4年10月> 学士(造形)
		Public Art/公共芸術論
兼任	講師	江戸 克栄 (53) <令和4年7月> 修士(商学)
		Marketing Theory/マーケティング論
兼任	講師	ツキ マチ 露木 真也子 (55) <令和4年10月> 博士(学術)
		Social Entrepreneurship/社会起業家論
兼任	講師	アハメド アシル Ahmed Ashir (51) <令和4年10月> 博士(情報科学)
		Social Entrepreneurship/社会起業家論
兼任	講師	リ スエイ 李 翠盈 (30) <令和4年4月> 修士(学術)
		Development Economics/開発経済学 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習ⅠA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習ⅠB
兼任	講師	ほんもと ゆか 橋本 優香 (48) <令和3年10月> 日本語教育学(修士)
		Japanese III/日本語Ⅲ Japanese VI/日本語Ⅵ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								兼任 講師 シバ シシコ 七田 良彦 (60) <令和4年4月> 学士(経済学)
								Introduction to Business Administration/経営学概論
								兼任 講師 ウツクハシ ヨコ 瓜生原 葉子 (56) <令和4年4月> 博士(経営学)
								Healthcare Services/ヘルスケアサービス論
								兼任 講師 シロタ ナツメ 白水 始 (52) <令和4年6月> 博士(認知科学)
								Introduction to Psychology/心理学概論 Introduction to Cognitive Science/認知科学概論
								兼任 講師 サトウ マチ 齊藤 萌木 (39) <令和4年6月> 博士(教育学)
								Introduction to Cognitive Science/認知科学概論
								兼任 講師 フジキ ダイタ 藤木 大介 (45) <令和4年4月> 博士(心理学)
								Introduction to Psychology/心理学概論
								兼任 講師 マツウチ ヲシキ 松浦 慶之 (45) <令和5年1月> 修士(工学)
								Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習IB
								兼任 講師 モリ マチロ 元木 明宏 (57) <令和4年6月> 学士(工学)
								Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習IA
								兼任 講師 ヒノハラ ミチ 日野原 美咲 (34) <令和4年4月> 学士(教育学)
								Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習IB
								兼任 講師 コラク ステファン ジョン Kolak Stephen John (67) <令和4年4月> 学士(応用行動科学)
								Reading English I/リーディング英語 I Reading English II/リーディング英語 II Speaking English I/スピーキング英語 I Speaking English II/スピーキング英語 II

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
20	10
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
13	7	2	0	22	0	10	9	2	0	21	0
(10)	(7)	(2)	(0)	(19)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
11	9	2	0	22	0	11	11	2	0	24	0
[△2]	[2]	[0]	[0]	[0]	[0]	[△2]	[4]	[0]	[0]	[2]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65	2	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{22}{22} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{21} = \boxed{9.52} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	教授	加村 マサ 笠木 雅史	R2.12	必修	Introduction to Project Based Learning 基礎入門	①	R2.12 本人の一身上の都合のためやむを得ず就任辞退。後任の専任教員については、候補者を選考し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受審。令和3年5月28日に審査結果伝達があり、職位・科目担当の資格が認められた。今後は速やかに採用手続きに入る予定。(3) R3.10 後任教員については、直ちに選考を実施し、令和3年3月の教員資格審査(AC教員審査)を受審。令和3年5月に教授、当該科目担当可の判定を受けたが、本人のやむを得ない事情(体調不良)により就任辞退。上記の就任辞退を受け、直ちに公募・選考を実施したが、当該科目担当に相応しい適任者が該当しなかったため、再度公募・選考を実施した。その結果、当該科目担当に相応しい適任者が該当したため、AC教員審査の受審準備中。(4)
				必修	Project Based Learning Exercise 1A 基礎実践演習1A	①	
				必修	Project Based Learning Exercise 1B 基礎実践演習1B	①	
				必修	Project Based Learning Exercise 2 基礎実践演習2	①	
				必修	Degree Project/卒業プロジェクト	①	
				選択	Domestic Volunteer Program 国内ボランティア	①	
				選択	Domestic Internship Program A 国内インターンシップA	①	
				選択	Domestic Internship Program B 国内インターンシップB	①	
				選択	Volunteer Abroad Program 海外ボランティア	①	
				選択	Internship Abroad Program 海外インターンシップ	①	
				選択	Short-Term Study Abroad Program 海外短期プログラム	①	
				必修	Introduction to Research and Studies 研究入門	①	
				選択	Philosophy and Ethics/哲学・倫理学	①	
必修	Logical Thinking/ロジカルシンキング	①					
2	教授	いづみ げんせい 石村 源生	R2.11	必修	Introduction to Project Based Learning 基礎入門	①	R2.11 体調不良のため就任辞退。後任の専任教員については、直ちに公募を実施し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受審。令和3年5月28日に審査結果伝達があり、職位・科目担当の資格が認められた。今後は速やかに採用手続きに入る予定。(3) R3.10 水島希准教授を後任として採用。(4)
				必修	Project Based Learning Exercise 1A 基礎実践演習1A	①	
				必修	Project Based Learning Exercise 1B 基礎実践演習1B	①	
				必修	Project Based Learning Exercise 2 基礎実践演習2	①	
				必修	Degree Project/卒業プロジェクト	①	
				選択	Domestic Volunteer Program 国内ボランティア	①	
				選択	Domestic Internship Program A 国内インターンシップA	①	
				選択	Domestic Internship Program B 国内インターンシップB	①	
				選択	Volunteer Abroad Program 海外ボランティア	①	
				選択	Internship Abroad Program 海外インターンシップ	①	
				選択	Short-Term Study Abroad Program 海外短期プログラム	①	
				必修	Introduction to Science and Technology 科学概論	①	
				選択	History of Science and Technology/科学歴史	①	
選択	Science Museum/博物館実習プログラム	①					
3	教授	かみ い 高須 司江	R2.11	必修	Introduction to Project Based Learning 基礎入門	①	R2.11 体調不良のため就任辞退。後任の専任教員については、直ちに公募を実施し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受審。令和3年5月28日に審査結果伝達があり、職位・科目担当の資格が認められた(後任教員2名)。今後は速やかに採用手続きに入る予定。(3) R3.7 長岡さくら准教授を後任として採用。(4) R3.9 安富淳准教授を後任として採用。(4)
				必修	Project Based Learning Exercise 1A 基礎実践演習1A	①	
				必修	Project Based Learning Exercise 1B 基礎実践演習1B	①	
				必修	Project Based Learning Exercise 2 基礎実践演習2	①	
				必修	Degree Project/卒業プロジェクト	①	
				選択	Domestic Volunteer Program 国内ボランティア	①	
				選択	Domestic Internship Program A 国内インターンシップA	①	
				選択	Domestic Internship Program B 国内インターンシップB	①	
				選択	Volunteer Abroad Program 海外ボランティア	①	
				選択	Internship Abroad Program 海外インターンシップ	①	
				選択	Short-Term Study Abroad Program 海外短期プログラム	①	
				選択	Peace Studies/平和論	①	
				選択	Domestic Volunteer Service/国内ボランティア	①	
必修	Legal Mind/法的思考	①					
4	准教授	ラフイェヤン ヴァヒド RAFIEYAN VAHID	R3.2	必修	Introduction to Project Based Learning 基礎入門	①	R3.2 一身上の都合により広島県への移住ができなくなったため就任辞退。後任の専任教員については、令和4年4月の採用に向け、令和3年度中に公募実施予定(3) R4.4 George Michael Higginbotham准教授を後任として採用。(4)
				必修	Project Based Learning Exercise 1A 基礎実践演習1A	①	
				必修	Project Based Learning Exercise 1B 基礎実践演習1B	①	
				必修	Project Based Learning Exercise 2 基礎実践演習2	①	
				必修	Degree Project/卒業プロジェクト	①	
				選択	Domestic Volunteer Program 国内ボランティア	①	
				選択	Domestic Internship Program A 国内インターンシップA	①	
				選択	Domestic Internship Program B 国内インターンシップB	①	
				選択	Volunteer Abroad Program 海外ボランティア	①	
				選択	Internship Abroad Program 海外インターンシップ	①	
				選択	Short-Term Study Abroad Program 海外短期プログラム	①	
				選択	Listening English 1/リスニング英語1	①	
				選択	Writing English 1/ライティング英語1	①	
				選択	Reading English 1/リーディング英語1	①	
				選択	Speaking English 1/スピーキング英語1	①	
				選択	Listening English 2/リスニング英語2	①	
				選択	Writing English 2/ライティング英語2	①	
				選択	Reading English 2/リーディング英語2	①	
				選択	Speaking English 2/スピーキング英語2	①	
				選択	Current English/カレントイングリッシュ	①	
選択	Presentation English/プレゼンテーションイングリッシュ	①					

5	教授	瓜生原 葉子	R3.10	必修	Introduction to Project Based Learning/課題別入門	①	R3.10 現任校の教育上等のやむを得ない事情のため就任辞退。 後任の教員については、直ちに公募・選考を実施したが、当該科目担当に相応しい適任者が該当しなかったため、再度公募・選考を実施した。現在、選考中。(4)		
				必修	Project Based Learning Exercise 1A/課題別実習1A	①			
				必修	Project Based Learning Exercise 1B/課題別実習1B	①			
				必修	Project Based Learning Exercise 2/課題別実習2	①			
				必修	Degree Project/卒業プロジェクト	①			
				選択	Domestic Volunteer Program/国内ボランティア	①			
				選択	Basic Internship Program A/国内インターンシップA	①			
				選択	Basic Internship Program B/国内インターンシップB	①			
				選択	Volunteer Abroad Program/海外ボランティア	①			
				選択	Internship Abroad Program/海外インターンシップ	①			
				選択	Short-Term Study Abroad Program/海外短期プログラム	①			
				選択	Introduction to Business Administration/経営学概論	②			
				選択	Business Strategy and Organization Theory/経営戦略・組織論, Marketing Theory/マーケティング論, Healthcare Services/ヘルスケアサービス論	②			
				選択	Healthcare Services/ヘルスケアサービス論	②			
選択	Introduction to Social Psychology/社会心理学概論	①							
6	教授	河瀬 諭	R3.10	必修	Introduction to Project Based Learning/課題別入門	①	R3.10 親の介護により広島県への移住ができなくなったため、就任辞退。 後任の教員については候補者を選考し、令和4年3月の大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AG教員審査)を受審中。(4)		
				必修	Project Based Learning Exercise 1A/課題別実習1A	①			
				必修	Project Based Learning Exercise 1B/課題別実習1B	①			
				必修	Project Based Learning Exercise 2/課題別実習2	①			
				必修	Degree Project/卒業プロジェクト	①			
				選択	Domestic Volunteer Program/国内ボランティア	①			
				選択	Basic Internship Program A/国内インターンシップA	①			
				選択	Basic Internship Program B/国内インターンシップB	①			
				選択	Volunteer Abroad Program/海外ボランティア	①			
				選択	Internship Abroad Program/海外インターンシップ	①			
				選択	Short-Term Study Abroad Program/海外短期プログラム	①			
				選択	Introduction to Psychology/心理学概論	①			
				選択	Introduction to Cognitive Science/認知科学概論	①			
				合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)	
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
6	人	必修	34 科目	必修	34 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	58 科目	選択	54 科目	選択	4 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	92 科目	計	88 科目	計	4 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		該当なし							
		該当なし							
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D) + (F)			後任補充状況の集計(E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
6	必修	34 科目	必修	34 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	58 科目	選択	54 科目	選択	4 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	92 科目	計	88 科目	計	4 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{6}{22} = \boxed{27.27} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
		該当なし					
合計			後任補充状況の集計				
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任担当教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

石村源生教授予定者、高須司江教授予定者、RAFIEYAN VAHID准教授予定者については、それぞれ後任者が決定し、着任済である。(石村源生教授予定者⇒水島希准教授、高須司江教授予定者⇒長岡さくら准教授・安富淳准教授、RAFIEYAN VAHID准教授予定者⇒George Michael Higginbotham准教授) 笠木雅史教授予定者の後任については、後任教員を選考し、令和4年6月のAC教員審査の受審準備中である。既に令和3年に開講している科目については、兼任講師を補充し授業を開講しているため、学生に対して教育上の支障はでていない。瓜生原葉子教授予定者の後任については、現在選考中である。令和4年4月に開講している科目については、兼任講師を補充し授業を開講しているため、学生に対して教育上の支障はでていない。河瀬諭教授予定者の後任については、後任教員を選考し、令和4年3月のAC教員審査を受審中である。令和4年4月に開講している科目については、兼任講師を補充し授業を開講しているため、学生に対して教育上の支障はでていない。今後、専任教員の交代等にあたっては、当該科目の修正したシラバスについて学生ポータルサイト「My Eikei」での周知や、大学ホームページ上の「教員一覧」や当該教員の掲載のあるパンフレットについて速やかにデータの差し替えを実施する等、学生にとって不利益とならないように対応していく。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

<p>認可時 (令和2年)</p>	<p>発展科目の「アイデンティティデザイン」の「自然」区分に配置された「認知科学概論」と「ヘルスケアサービス論」について、授業内容をもて当該区分に該当する科目であることが理解されにくいと考えられるため、学生に対して分かりやすく示すこと。</p>	<p>遵守事項</p>	<p>「認知科学概論」及び「ヘルスケアサービス論」については、脳機能やエビデンスに基づいた医療等の自然科学的な内容を含むため、当該区分に配置している。このような、各科目区分への配置意図を分かりやすく示すため、当該科目のシラバス見直しに着手した。(3) 見直しを行ったシラバスについて、2022年度4月からMyEikeiにおいて学生向けに公開している。(4)</p>	<p>シラバスの見直しは、Autumnクォーターまで全て終了させる。「ウインドウ」についての説明を含めた。修正後のシラバスをポータルシステム「MyEikei」において、リベラルアーツ科目が開講する2年Springクォーターの履修登録期間までに学生に周知すると共に、初回授業での教員からの説明により学生に周知する。 今後は、指摘の2科目のみではなく、教育制度の充実や教職員研修の企画・実施を取り扱う「教育手法検討・研修WG」において、カリキュラムマップ等の作成に着手するなどして、科目の体系的な科目配置の意図を学生にさらに分かりやすく説明する方法を検討する。(3) 今後、「教育手法検討・研修WG」の枠組みの中で、科目の体系的な可視化に係る検討及び学生への周知方法等について検討を行うこととし、カリキュラムマップ作成のための第一段階として、教員同士が互いの授業を参観することで各授業への理解を促進する授業参観の仕組みを同WG内で検討し、2022年度後半から実施予定である。また、カリキュラムマップの作成にあたっては、科目履修時のゴールの一つであるコンピテンシーの獲得の視点を踏まえ、「コンピテンシー教育推進WG」と「教育手法検討・研修WG」の連動のもとで検討を進める。(4)</p>
<p>認可時 (令和2年)</p>	<p>「ICT入門」の授業科目は、ICTリテラシーの内容が中心となっており、養成する人材像に「ICTの知識・スキルなどを基盤に解決策を立て、(中略)実行力のある人材を育成」と掲げているのである。ICTリテラシーのほか、ICT全般の基本的な技術などを学べる内容にすることが望ましい。(助言事項)</p>	<p>改善意見</p>	<p>ICT全般の基本的な技術は、e-learningを活用することで習得させることとする。この習得はICT入門の授業外で学べるようにする。(3)</p>	<p>履行済</p>
<p>認可時 (令和2年)</p>	<p>必修科目である「経済学入門」の授業内容は、ミクロ経済学とマクロ経済学の双方を教授する内容となっているが、当該1科目2単位で基礎的な内容を十分に教授することは困難であると考えられるため改めること。また、授業内容も標準的とは言えないため、例えば、使用する教科書に沿った内容にするなど、入門科目にふさわしい内容に改めること。</p>	<p>遵守事項</p>	<p>前啓大学ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科が育成しようとしている人材は、社会を俯瞰する視野を持ち、他者との協働のもと、文理の枠を超えた知識やスキルを組み合わせ課題の解決を図る人材である。この目的を達成するためには、文理の枠を超えて幅広い学問分野について学ぶ必要がある。様々な学問分野をバックグラウンドとしている専門家や関係者と協働するためにはそれぞれの学問分野の枠組み、問題の捉え方を理解し、バックグラウンドの異なる関係者との相互理解を深めることが必要であり、幅広い学問分野の枠組み、問題の捉え方を理解する必要があるが、個別の学問分野に割り当てることができる単位数には限界があり、上記の目的を達成するために内容を精査する必要がある。 ご指摘を踏まえ、「経済学入門」の授業科目の内容について、入門レベルの教科書として最も広く利用されているPrinciples of Economics (8th Edition)を採用し、上記の目的を踏まえた経済学の入門科目として、マクロ経済学、ミクロ経済学のエッセンスとして、ミクロ経済学の内容から市場メカニズムとその主体である消費者と企業のモデル、政府の役割と公共財の概念、市場外性を理解し、マクロ経済学の内容からは、経済成長の概念と計測法、金融市場を理解することを通して、基本的な経済原則を学び、自分自身の経済活動を踏まえて、日本の家計、企業、政府の基本的特徴を理解する中で、それら各主体の振る舞いについて経済理論をもとに理解するとともに、資源循環型社会における経済活動を取り上げ議論する内容に改め、併せてシラバスを修正し、令和3年6月実施の大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A0教員審査)に諮ることとした。(3) 【「経済学入門」に係る令和3年1月30日における追加指摘事項】 認可時の附帯事項を受けて修正した「経済学入門」のシラバスを示すとともに、本授業科目においてミクロ経済学とマクロ経済学の基礎を学生が身に付けることができる内容となっていることについて具体的に説明すること。 追加指摘事項についての対応については、令和3年12月13日に回答したとおり。修正後のシラバスをMyEikeiにおいて公開した。(4)</p>	<p>学生に対しては、修正後のシラバスをポータルシステム「MyEikei」において、当該科目が開講するAutumnクォーターの履修登録時点で周知する。(3)</p>
<p>認可時 (令和2年)</p>	<p>「環境経済学」の中で取り扱われる「環境法」の内容については、カーボン・プライシング、生物多様性オフセット、環境アセスメント等の様々な法的手法にも言及し、パリ協定の下での脱炭素化にみられるような法的レジームの移行的(transformative)役割については、SDGsの各目標と関連付けて言及されることが望ましい。(助言事項)</p>	<p>改善意見</p>	<p>助言の内容を踏まえて、カーボン・プライシング、生物多様性オフセット、環境アセスメント等の様々な法的手法にも言及し、パリ協定の下での脱炭素化にみられるような法的レジームの移行的(transformative)役割については、SDGsの各目標と関連付けて言及するようシラバスを修正した。</p>	<p>履行済</p>
<p>認可時 (令和2年)</p>	<p>「生物多様性論」の授業科目の内容は統計の比重が大きくなっているため、必要な知見が幅広く修得できる授業科目の内容に改めること。また、複数の教科書が示されているが、すべて必要なものを再検討し、必要に応じて参考書として示すなど、学生の効率的な学習に資するよう改めるとともに、教科書を記載する場合は出版年も示すこと。</p>	<p>遵守事項</p>	<p>「生物多様性論」の授業科目において、統計の比重を見直し、「機能的な生物多様性」や「エコシステムのケーススタディ」の内容を組み込む等、必要な知見が幅広く修得できる内容にシラバスの見直し・修正を行った。また、教科書のうちいくつかを参考書として示し、併せて出版年を記載し、シラバスを修正した。</p>	<p>見直し後のシラバスを当該科目が開講する2年Summerクォーターの履修登録期間までにポータルサイト「MyEikei」で学生に周知する。</p>
<p>認可時 (令和2年)</p>	<p>シラバスに記載されている教科書や参考書について、出版年が記載されていないもの、日本語と英語で出版年の表記が異なるもの等が見受けられるため、記載を確認したうえで学生に示すこと。</p>	<p>遵守事項</p>	<p>全授業科目のシラバスの内容について確認し、公開中のSpringクォーター及びSummerクォーターのシラバスで出版年の記載がなされていなかったものについては修正し、その内容を公開済である。Autumnクォーター以降のシラバスについては、指摘の内容に沿っての見直しに着手した。(3) 各授業科目のシラバスについて、出版年等の記載を確認した上で、2022年度4月からポータルサイトMyEikeiにおいて学生向けに掲載・公開した。(4) ※履行済</p>	<p>シラバスを各科目が開講するクォーターの履修登録期間までに修正し、ポータルシステム「MyEikei」によりAutumnクォーターに向けて学生に周知する。(3)</p>

<p>認可時 (令和2年)</p>	<p>コンピテンシー評価について、学生の学修意欲の低下につながるような、趣旨や内容を学生に分かりやすく説明するとともに、公正で客観的な評価に留意すること。</p>	<p>遵守事項</p>	<p>コンピテンシー評価の方法について、学生便覧に掲載し、入学時のオリエンテーションにおいて説明を行った。その他、不明な点がある場合は教員のオフィスアワー、教学課及びポート教員において質問を受け付ける体制を整えている。また、「教育手法検討・研修」WGにおいて、コンピテンシー評価を適切に行うための授業改善アンケートのあり方について協議を行い、個々の授業単位ではなく、教育課程上の区分を単位としてアンケートを実施することで、学生の成長度合いをカリキュラムのまとまりの中で評価していくこととした。(3)</p> <p>コンピテンシー評価の方法について、令和4年も引き続き学生向けのオリエンテーションにおいて、職員から評価方法の具体的な内容を、シラバスを見ながら詳しく説明した。また、求められるコンピテンシーが身に付いたかどうかについて、クォーター毎の学生向けのアンケート「教育改善のための授業アンケート」において、関連する質問項目を設け、学生自身が授業終了後の振り返りが行えるようにした。アンケート結果はクォーター毎の授業担当教員において共有し、FDとして振り返りを行った。(4)</p>	<p>公正で客観的な評価のあり方について、教育制度の充実や教職員研修の企画・実施を担当する「教育手法検討・研修」及び学生のコンピテンシー育成及びキャリア形成支援センター教育推進の2つのWGを中心となり、センター長会議での審議を行いながら、それぞれが連携し、検討を進める。(3)</p> <p>また、今後の実施予定として、「コンピテンシー教育推進WG」と「教育手法検討・研修WG」の連携を強化し、コンピテンシーそのものの理解の推進や、その具体的な評価を行うための方策について、各WG等で合同ミーティングを行いながら、公正かつ客観的な評価の実施を推進する。(4)</p>
<p>認可時 (令和2年)</p>	<p>コンピテンシー評価については教員の負担も大きいと考えられるため、教務担当の職員等が事務的なサポートを行うこと。また、シラバスにおいて示されている「主なコンピテンシー」について、複数設定されている場合であって、重要なコンピテンシーがある場合は、学生の効果的な学修に資する観点から、そのことを明示することが望ましい。</p>	<p>遵守事項</p>	<p>成績評価方法について、成績入力システムにおける視認性を工夫したほか、同システムの教職員用マニュアル(日・英)を整備し、教職員向けのシステム利用説明会を実施した。成績入力期間中には、教務担当職員が必要に応じて教員からの質問を受け付ける体制を整えている。</p> <p>なお、複数のコンピテンシーが設定されている科目については、各コンピテンシー同士が相互補完的に絡み合っており、育成されるものと考えているため、その重要性に差異は設けていない。その上で、複数の科目が相互補完的にコンピテンシーを身に付けられるよう、科目の体系性や連続性に留意した教育課程としている。(3)</p> <p>コンピテンシー評価を含めた成績評価の方法について、ポータルシステムに入力する期間において、教務担当職員から専任教員及び非常勤教員に対して対面又はZoomによる個別に説明を行った。また、前述のFDにおいて、授業を実施した教員を中心としたコンピテンシー評価のあり方に関する意見交換を行い、今後も引き続き適切な成績評価の方法について議論を継続していくこととした。(4)</p>	<p>summerクォーター以降も、引き続き担当職員が事務的なサポートを行うほか、実際の運用状況を踏まえてマニュアルの更新を行う。</p> <p>また、コンピテンシー評価における教員間の差が生じないように、FDの中で、教員同士で成績評価の相互レビューを実施する。(3)</p> <p>引き続き、教員間でのコンピテンシー評価に関する意見交換を行い、適切な成績評価の方法について議論を継続する。(4)</p>
<p>認可時 (令和2年)</p>	<p>「課題解決演習科目」や「体験実践プログラム」の運営の教員体制について、突発的な事象に対応しなければならぬことも想定されるため、教員の過度な負担にならないよう留意しつつ、バックアップ体制の整備を検討することが望ましい。(助言事項)</p>	<p>改善意見</p>	<p>「課題解決演習科目」及び「体験実践プログラム」の運営については、令和4年度以降の授業実施に向けて、教員の業務負担を考慮し、授業の実施体制や科目担当教員の配置について、「産学官連携WG」において検討を行っている。また、企業等との緊密なコミュニケーションや新たな連携先の獲得に向けたPR活動等を担う職員3名を配置する等、バックアップ体制の整備を実施した。(3)</p> <p>「課題解決演習科目」及び「体験実践プログラム」の授業実施体制や科目教員の配置方針を決定し、それに基づき授業を運営している。特に課題解決演習科目にて、令和4年4月より専任講師の川瀬真紀教授(令和3年12月教員審査済み)を追加採用し、教員全体の統括や企業との調整業務に従事していただいている。(4)</p>	<p>突発的な事象への対応、また授業準備や企業等との調整において教員の負担が軽減できるよう、バックアップ体制の整備について検討を継続するとともに、各科目における教材の標準化や、協力企業等との連絡調整にかかわる手続きのマニュアル化を進める。(3)</p> <p>教員のバックアップ体制の整備について引き続き検討をするとともに、各科目における教材の標準化や、協力企業等との連絡調整にかかわる手続きのマニュアル化を進める。(4)</p>
<p>認可時 (令和2年)</p>	<p>「教員と職員が協力して業務を推進」するとされている必修科目の「卒業プロジェクト」について、教職員の負担が大きくなりすぎないよう適切な連携を図りながら実施されることが望ましい。(助言事項)</p>	<p>改善意見</p>	<p>4年次に開講する「卒業プロジェクト」について、教員は学生指導を行うほか、運営業務のうち指導希望学生との面談や受け入れ判断を、職員は共通の運営業務として、公開プレゼンテーションの会場調整やプラットフォームへの参加団体との調整を行うこととしている。今後のプログラム実施のための具体的な検討を進める際に、プラットフォームの運営や、就職支援を含むキャリア教育に関する業務を担当する教育企画課と、教員の授業運営サポートや学生への履修指導を行う教学課が連携し、上記の業務に関する教職員の連携に留意しながら準備を進めることを確認した。(3)</p> <p>教育企画課及び担当教員が主導する卒業プロジェクト・研究室WGにおいて、卒業プロジェクトの制度構築や開講までのスケジュール設計に関する協議を開始した。(4)</p>	<p>引き続き部署間で連携を適切に実施しながら、同必修科目の具体化に係る検討・準備を実施する。(3)</p> <p>今後、プロジェクトの内容が整備される中で、教学課と連携し、授業運営方法や単位認定に関する制度の準備を行う予定である。(4)</p>
<p>認可時 (令和2年)</p>	<p>必修科目である「卒業プロジェクト」について、就職活動の時期と重なるため、適切に履修が行われるよう学修支援を行うとともに、秋入学の学生は4月入学より履修時期が早まるため、「卒業プロジェクト」の履修に必要な授業科目の履修が行えることや、4年次においても必要な授業科目の履修を行うよう履修指導を適切に行うこと。</p>	<p>遵守事項</p>	<p>今後のプログラム実施のための具体的な検討を進める際に、プラットフォームの運営や、就職支援を含むキャリア教育に関する業務を担当する教育企画課と、教員の授業運営サポートや学生への履修指導を行う教学課が連携し、上記の業務に関する教職員の連携に留意しながら準備を進めることを確認した。</p> <p>秋入学の学生については、春入学の学生と異なり、入学時点で全面英語による授業履修が可能な語学レベルが担保されているため、半年間をLEP(英語集中プログラム)に費やす必要はなく、「卒業プロジェクト」の履修に必要な授業科目の履修は問題なく行えると考えている。(3)</p> <p>卒業プロジェクトの制度化を進めると同時に、キャリア教育を担当する教育企画課と学生の履修を担当する教学課において、卒業プロジェクトの受講に必要な授業科目の単位取得や卒業要件に必要な科目の履修に関する個々への指導を十分にを行い、卒業に支障がない運営方法について今後協議を行うことを確認した。(4)</p>	<p>引き続き部署間で連携を適切に実施しながら、同必修科目の具体化に係る検討・準備を実施する。(3)</p> <p>引き続き、卒業プロジェクトの制度化を進め、教育企画課と教学課にて卒業プロジェクトの運営方法について協議を行う。(4)</p>
<p>認可時 (令和2年)</p>	<p>評価の客観性の担保のために、入学希望者選抜において録音又は録画等を行うに際しては、このことを入学希望者選抜実施要項等で受験生にあらかじめ周知されることが望ましい。(助言事項)</p>	<p>改善事項</p>	<p>令和3年度入試における面接及びグループディスカッションについてはオンラインで行うこととし、学生募集要項に「オンラインによる試験実施」という項目を設け、注意事項として、公正な試験を実施するため、試験の様子は本学が録音を行う旨を明記し、webサイトにおいて公表した。</p>	<p>令和4年度以降の入試においても、面接及びグループディスカッションをオンラインで行う場合には、同様に対応する。</p>

<p>認可時 (令和2年)</p>	<p>例えば、専門的な設計が必要と考えられる多数の無線アクセスポイントの整備や段階的に整備する充電設備をはじめとした施設設備については、学生の教育研究に支障のないよう適切に整備すること。</p>	<p>遵守事項</p>	<p>通信環境については、開学時までの改修工事において、大学全館で学生が使用できるWi-Fiを整備している。電源設備については、モバイルバッテリー及び電源タップを必要に応じて貸与する体制を整えたほか、リーラーコンセントのレールを教室に整備しており、必要に応じてコンセントを設置し、学生が授業中に電源を得ることができるように設備を整えている。</p>	<p>履行済</p>
<p>認可時 (令和2年)</p>	<p>学生が持参した端末を使って授業を受講する「BYOD形式」とするのであれば、技術的サポート体制の重要性に鑑み、外部委託による「ヘルプデスク」だけでなく、将来的には専任の技術職員の配置を検討するなど、継続的かつ適切なサポート体制を構築することが望ましい。また、学内の所管となる「学術情報センター」の教職員について、最新の知識・技術の修得ができるよう行うことが望ましい。(助言事項)</p>	<p>改善意見</p>	<p>担当教職員が最新の知識・技術を習得できるよう、関係オンライン研修への参加を積極的に推奨していると共に、学術情報業務を担当する専任教員が、担当職員のレベルアップを図るため、日常的に知識・技術の伝達を行っている。(3) AXIES(大学ICT推進協議会)に加盟し、他大学の先進的事例を参考にするとともに、常に最新の情報を参照し、必要に応じて取り入れを行った。(4)</p>	<p>履行中 研修参加の推奨や知識・技術の伝達を行うことで引き続き教職員のレベルアップを図っていくと共に、学生からの問い合わせやトラブルサポート依頼件数及びその内容を踏まえて、専任の技術職員の配置等について検討する等、継続的かつ適切なサポート体制の構築に努める。(3) 引き続きICTを専門とする専任教員が学術情報センター担当職員のレベルアップを図るため、日常的に知識・技術の伝達を継続する。(4)</p>
<p>認可時 (令和2年)</p>	<p>運動場、体育館が別地にあることから、教育に支障のないようにすることにより、学生の課外活動等に配慮すること。</p>	<p>遵守事項</p>	<p>課外活動について、創啓大学の学生が県立広島大学の課外活動団体への加入を許可しているほか、創啓大学の学生のみで構成する課外活動団体についても、県立広島大学の運動場や体育館を使用可能としている。施設利用の予約については、各大学の授業課が連携し、予約が重複しないよう十分な調整を行う。学生に対して、県立広島大学への移動方法を学生便覧において分かりやすく明示し、スムーズな移動を支援している。(3) 体育館等の利用について、県立広島大学本部教學課と連携し、予約確認を行っている。(4)</p>	<p>履行中 学生の課外活動における施設利用状況を踏まえて、引き続き配慮を行っていく。また、2年次に開講する「健康学入門」における体育施設の利用については、県立広島大学への移動時間を加味して集中講義として実施する等、教育に支障のないよう配慮した時間前編成とする予定である。(3) 令和4年度から開講する「健康学入門」[Introduction to Health Science]について、12月に県立広島大学の体育館を利用して実技を実施する予定である。(同科目は、学生の移動に係る時間を考慮し、通常授業コマではなく、GAP期間中の集中講義として実施する)(4)</p>
<p>設置計画履行状況調査結果 (令和3年)</p>	<p>・専任教員数が設置計画から減少しているため、提示された教員の採用計画を確実に履行するよう努めること。</p>	<p>指摘事項(改善)</p>	<p>【当初設置計画(完成時 教員組織編制)】 ・当初設置計画(完成時) 教授13名 准教授7名 講師2名 計22名</p> <p>【終結】 ・令和3年4月の開学時点で、本人のやむを得ない事情から専任教員4名(教授3名、准教授1名)の就任辞退が出ている。 ・令和3年5月時点で専任教員充足率は81.81%(教授10名、准教授6名、講師2名、計18名)。 ・令和3年10月時点で、本人のやむを得ない事情から令和4年4月就任予定していた専任教員2名(教授2名)の就任辞退が出ている。 ・令和3年12月時点で、専任教員充足率は86.4%(教授9名、准教授8名、講師2名、計19名)。 ・令和4年4月時点で、専任教員充足率は95.5%(教授10名、准教授9名、講師2名、計21名)。 ・心理学専任教員はAC教員審査受審中、哲学・倫理学専任教員は令和4年6月にAC教員審査受審予定、令和4年10月にデータサイエンス専任教員である森後樹教授就任(令和3年12月教員審査済み)であり、令和4年度中には専任教員充足率は100%を達成する。</p> <p>【後任補充状況】 就任辞退教員(6名)の後任補充については、以下のとおりである。 ・志木雅史教授予定者：後任を選考し、令和4年6月のAC教員審査の受審準備中。 ・石針達生教授予定者：後任を選考し、令和3年10月に水島敦准教授を採用済。 ・高須司江教授予定者：後任2名を選考し、令和3年7月に長岡さくら准教授、令和3年9月に安富淳准教授を採用済。 ・瓜生原菜子教授予定者：後任について公募し、現在選考中。 ・河津諭教授予定者：後任を選考し、令和4年3月のAO教員審査を受審中。 ・RAPIEVAN VAHID准教授予定者：後任を選考し、令和4年4月にGeorge Michael Higginbotham准教授を採用済。また、教育の充実のため以下の2名の教員を新規採用する。 ・森後樹教授：データサイエンス関連科目の充実のため、令和4年10月に着任予定。令和3年12月のAC教員審査を受審し、職位及び科目の適格性が認められた。令和4年4月～9月にかけては兼任講師としてデータサイエンス関連Aを山田芳樹教授とサムニバスで担当。 ・川瀬真紀教授：共通科目(課題解決演習関連)について、教員への指導や企業との調整を担当していただくため、令和4年4月に着任。 令和3年12月のAC教員審査を受審し、職位及び科目の適格性が認められた。</p> <p>【教育研究上の支障の有無及び具体的な対応状況】 ・就任を辞退した専任教員の担当科目については、専任教員の後任を採用する計画であるが、採用が決定するまでは予定通りに開講するため、担当可否について学内で判断し、非常勤講師により対応した。あわせて、科目によっては他の専任教員の指導体制及び教授が責任を持つとともに、兼任教員の追加・補充及び兼任教員の専門性に応じた担当科目の充実に等の対応を行った。令和3年度は1年次科目のみの開講であることから、就任辞退教員の専任での担当科目の開講が少なかったこと等もあり、現時点では教育研究上の支障は出ていない。また、科目担当教員のやむを得ない変更について、掲示板掲載の方法で周知を行い学生に不利益が生じないように努めた。令和4年度についても、後任の専任教員配置まで学生に不利益が生じないように最善の対応を実施する。</p>	<p>履行中 【今後の計画】 ・経営学専任教員については現在選考中である。教育の質の向上のため、全教員の共通科目である課題解決演習科目について、教員の総括を行う指導教員の採用を計画している。</p>

(注) ・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は
寄附行為変更の申請に係る附帯事項を除く)と、それに対する履行状況等について、
具体的に記入してください。
・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当校大学に付された指摘**
全てを記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。
その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<ソーシャルシステムデザイン学部 ソーシャルシステムデザイン学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>・新型コロナウイルスの影響による特例的対応</p>	<p>・O E F Rレベル目2未達成の学生にのみIEPを履修させることとしていたが、学生の英語力の更なる向上や、学生間が相互交流を行うための環境の構築を目的とし、春入学の学生は留学生も含めて、全員一律でIEPを履修させることとして変更した。(3)</p> <p>・IEP終了後、英語力が伸び悩んだ学生を対象として、TOEFL ITPテスト対策を含め、英語で授業を受けるために必要な、文法の復習を含めた基礎力向上に係る補習講座を行った。(4)</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大の状況を考慮し、5月6日からの大型連休明けから、全面オンライン授業へ切り替え、ポータルシステム「MyEikei」において、学生向け掲示板への掲示及びメール配信により周知を行った。(3)</p> <p>・令和3年度において、新型コロナウイルスの影響により、一定の期間において全面又は一部オンラインに切り替えて授業を行った。オンライン授業の実施による学年層の変更はない。また、感染症拡大に伴う入国制限により日本へ入国できなかった一部の留学生について、学内で授業を履修している学生の様子を見学し、A1遠隔カメラ配信しながらZoomによるやり取りを行い、ハイブリッド方式での授業を行った。接続については、職員によりTeams Chatによる接続不良時の連絡対応等を行い、スムーズに授業が受講できるようサポートを行った。(4)</p> <p>・日本国政府の入国制限により対面授業に参加できない留学生に対しては、対面とオンラインのハイブリッド授業を提供し、履修に対して支障がないよう対応した。今年度は、昨年度入国できていなかった留学生の入国が完了したため、ハイブリッド授業は実施していない。(4)</p> <p>・オンライン授業実施に伴う学年層の変更はない。(3)</p> <p>・オンライン授業への切り替えに当たっては、専任教員及び教学課から非常勤講師への事前連絡を密に行い、中間試験及び最終試験の実施方法についてTeamsを用いたオンライン会議において情報共有を行う等して、学生の学修に影響が出ないよう配慮を行った。(3)</p> <p>・新型コロナウイルスの感染状況並びに県の活動基準に従って、対面・オンライン授業へと切り替えを行った。コロナウイルスの陽性判定により対面授業への出席ができなくなった学生に対しては、授業の配信資料の共有やオンラインでの期末試験への出席を認めるなどの配慮を行った。今年度は、原則、全面対面授業を実施し、感染状況に応じて、都度、オンラインへの切替を行うこととしている。(4)</p> <p>・学生間の感染症拡大防止のため、学生の大学への入構を原則として禁止したが、奨学金申し込みに関する書類の提出等、やむを得ない事情による入構希望者については、入口付近に配置している警備室のスタッフとの連携の上、入構目的を入口で記載させ、大学への滞在時間を最低限に留めさせる等、個別に対応を行った。(3)</p> <p>・大学への入構に関しては、引き続き、対面授業への参加や奨学金などの各種必要手続きが必要な場合のみ許可し、学内での感染防止に努めた。(4)</p> <p>・図書の利用については、メール又は電話申し込みによる宅配貸出しサービスを開始したほか、学生の心の健康管理について、学生相談室におけるカウンセリングを電話相談での実施に切り替える等して、入学後である学生の孤独感解消に努めた。(3)</p> <p>・図書の利用は、宅配貸出サービスを継続し、学生相談室におけるカウンセリングも電話又はオンラインでの相談に切り替えを行うことで学内での感染拡大を防止しつつ、必要な支援は提供できるよう対応した。(4)</p> <p>・なお、上記に関する学生及び教職員への周知については、全て日本語及び英語の両方において行った。(3)</p> <p>・入学選抜試験の各区分に共通する事項として、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、受験者の負担を最小限に抑えるため、グループディスカッション、面接についてはオンラインにより実施した。その結果、春入学全体の募集人員80人に対し、166人の志願があり、90人（総合型選抜52名、留学生選抜2名、学校推薦型選抜26名、一般選抜10名）を合格者とした。（志願倍率2.1倍）(3)</p> <p>・図書・学術雑誌については、申請時に予定していた冊数の一部の納品が間に合っていないため、学年完成時までには予定冊数まで購入できるよう鋭意準備を進めている。開講科目に係る書籍は一連し揃っており、現時点では学生の教育に支障はない。(3, 546 (1, 229)) (3)</p> <p>・令和3年度末にて、ほぼ予定冊数の購入を完了している。引き続き、カリキュラム履行に係る必要図書の新着を行う。学術雑誌については、留学等海外からのアクセス利便性を考慮し、電子・データベースでの契約を進めている。(41, 981 (3, 060)) (4)</p> <p>・学術雑誌の外国書及び視聴覚資料の点数は計画に対して減っているが、電子ジャーナル等のデータベース「Gale Academic OneFile」契約により、エンバーゴ(オリジナルとタイムラグ)がなくなりフルテキストで5,246タイトルが開覧可能（うち視聴覚使用647）であるため、実質的に学生が活用できる資料は大幅に増えている。(4)</p> <p>・機械・器具の点数の増は申請時、新規で購入する備品で具体的な仕様が決まったもののみの点数を算出しており、1Fや15Fなどの備品のAV機器や全フロアの備品機械・器具、学内で利用している残置品も併せて、確定していないものの計上は控えていたが、確定後に数え直しを実施した。講義室・PBL演習室のAV機器は200点近くあり、設置時の計画に算出できていなかった新速開講システムなどの機械・器具の点数も新たに追加したため。(3, 700) ※教学備品1,022増、講義室・PBL演習室 AV機器178増、英語ラウンジAV機器20増、新速開講システム105増、テレビ会議連携システム14増、モバイルバッテリー(学生配布用)105増(3)</p>
<p>・図書・学術雑誌 (42, 600 (3, 250))</p>	<p>(その他)</p>
<p>・図書・設備の機械・器具 (1, 662)</p>	<p>・デジタルリテラシー教育の強化を目的とし、デジタルリテラシー事業推進本部を設置。(4)</p>

(注) ・1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none">・教員の資質維持向上を行うためのFDの具体的実施方法等について検討する「教育手法検討・研修」WGを設置した。・SDに関しては、法人本部で企画している研修に、今年度から本学の教職員も参加することになっており、教職員の資質向上に努める。（3）・令和3年に設置された「教育手法検討・研修」WGにおいて、「教育改善アンケートの運用方法」、「2021年度におけるFD実施内容」、「日英ライティングにおけるピア・サポート体制の構築方法」等について、MS Teamsにおいて随時協議を行った。（4）・SDに関しては、今年度も引き続き、法人本部で企画している研修に、本学の教職員も参加することになっており、教職員の資質・能力の向上に努める。（4） <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none">・Microsoft TeamsにおけるWG関係者間の協議（随時）及び対面でのミーティングを1回実施した。・SDに関しては、法人本部において開催する。（昨年度は3回開催）（3）・Microsoft TeamsにおけるWG関係者間の協議を随時実施し、FDの内容や日程調整に係る議論を行った。また、教員が参加している「Faculty Development」チャンネルにおいて、全教員からのFDニーズ（取り上げてほしいテーマや困っていること等）の募集や、他大学の先事例の紹介、FD事前課題や質問・回答の共有等を行った。（4）・SDに関しては、必要に応じて法人本部の各部署で開催した。（4） <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none">・授業改善アンケートの運用方法、2021年度におけるFD実施方法、日英ライティングにおけるピア・サポート体制の構築について教育手法検討・研修WGにおいて協議を行った。（3）・SDに関しては、法人本部の研修部門において、教職員研修に係る企画・実施に関する協議を行った。（3）・「研修部門」会議では、アクティブ・ラーニングに係る教職員研修の企画・実施に関すること等の教育改善を、高等教育推進機構における方針決定を踏まえて具現化する。（3）・教育改善アンケートの運用方法、2021年度におけるFD実施について、日英ライティングにおけるピア・サポート体制の構築 等（4）・SDに関しては、法人本部の各部署において、教職員研修に係る企画・実施に関する協議を行った。（4）
<p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none">・授業改善アンケートの項目内容、閲覧範囲、フィードバック方法の決定・FD活動の大きなテーマの決定、月1回月次の定例会議日にFDを実施することを決定（3）（法人本部において実施したSD研修）（3）・オンライン授業導入に係る教職員のスキル修得及びリソース研修（3）・ハイブリッド授業構築に向けての効果的な教授法の研修方法（3）・フロンティア（英語）研修（3）・「教・研・学」協働による教育改善ミーティング研修（3） <p>上記の研修後に、アンケート調査を実施している。（3）</p> <p>・2021年度</p> <p>第1回 「新入生オリエンテーションにおける集中講義『ソーシャルシステムデザイン入門』」課題解決入門」担当教員による振り返り（英語）</p> <p>第2回 「敬愛大学におけるEMI（English as the Medium of Instruction）の方針について」（英語）</p> <p>第3回 「IEP（英語集中プログラム）についての振り返り」（英語）</p> <p>第4回 「授業実施及び成績評価についての振り返り」（英語）</p> <p>第5回 「PBLの進め方について」（日本語）</p> <p>・2022年度</p> <p>第1回 「授業の理解度を確保するためのレポート課題の設定の仕方とその多様性について」（日本語）（4）</p> <p>（法人本部において実施したSD研修）</p> <ul style="list-style-type: none">・教育ネットワーク中国（テーマ：これからの大学運営～大学職員のつながり～）・SP00フォーラム・目標・計画に係る説明会・情報セキュリティ研修・タイムマネジメント研修・ハラスメント防止研修・ハラスメント相談員研修（4） <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none">・対面、オンライン（新型コロナウイルス感染拡大防止措置により、委員会及び研修会は、ZoomやMicrosoft Teams等を利用し、オンラインで実施するなどし、教育改善方法の検討に努め、引き続き、国や県の感染拡大防止に係る対策方針等を踏まえながら対応する。（3）・2021年度においては、大学の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に係る活動基準に則り、MSTeamsを用いた全面オンラインにて実施した。（4） <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none">・FD Teamsでの協議（随時／参加者：教員2名・職員5名）、対面協議1回（参加者：教員2名・職員2名）（3）・SDについては、今年度から法人本部で計画、決定された研修に本学教職員も参加する。（3）・FD Teamsでの協議（随時／参加者：教員3名・職員2名）（4）・各FDにおける教員の出席率（所帯等においてやむを得ず参加できない教員を除き、概ね100%）（4）・SD研修については、法人本部で決定した研修が、オンラインやオンデマンド配信により実施された。R3.6/5に教育ネットワーク中国、R3.8/25-8/27にSP00フォーラム、R3.9/22に目標・計画に係る説明会、R4.1/18にタイムマネジメント研修、R4.3/4に情報セキュリティ研修がオンラインにて開催された。タイムマネジメント研修については、学内推薦で本学から職員名が受講し、教務課内において、フィードバック勉強会を実施した。R4.3月は、ハラスメント防止研修とハラスメント相談員研修がオンデマンド配信で実施され、ハラスメント防止研修については、日本語と英語での動画が配信された。（4） <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none">・授業改善アンケートについて、当初予定していた個々の授業単位での振り返りのみではなく、学生のコンピテンシーが身に付いたかどうかについて、科目区分等の単位で組織的な検証を行うよう改善を行った。（3）・Springクォーターにおけるアンケートの実施結果を、Summerクォーターからの教育改善に活用する。（3）・SDについては、研修受講後アンケートをオンラインで実施し、出された意見を踏まえ随時改善している。（3）・IEP終了後、英語力が伸び悩んでいると思われる学生に対する対応方針について、第3回FDにおける振り返りを実施後、担当教職員において追加協議を行い、補講を行うこととした（補講は2022年2月～3月にかけて実施）。（4）・適切なコンピテンシー評価のあり方について、2021年度に授業及び成績評価を行った教員からの意見を踏まえて、今後、継続して適切な評価方法に係る意見交換を行うこととした。（4）・SD研修については、法人本部において、アンケートをオンラインで実施し、さらに充実した学生サポートを可能とするため、大学職員に求められる知識・能力の向上に繋げている。（4）
<p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>入学時オリエンテーション実施時の集中講義2科目「ソーシャルシステムデザイン入門」「課題解決入門」においてアンケートを実施した。（実施時期：4月・オリエンテーション終了後1週間後実施）（3）</p> <p>各クォーター終了後、学生に対して教学ポータルサイト「MyEikei」を通じて、学生自身による学びの振り返りを通して、大学全体の教育を改善するための「教育改善のためのアンケート」を実施した（対象：各クォーターにおける全授業）。（4）</p> <p>上記に加えて、各授業担当が自らの授業改善のため、任意の質問を設定し、MS Teams等を用いて授業別アンケートを随時実施した。（4）</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症拡大防止策及びオンラインを含む授業受講環境について、机に備え付けたアクリル製の三面ガードの実際の利用状況や、オンライン授業における通信環境などを問う「授業受講環境に関するアンケート」を実施した。（4）</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <p>科目担当教員への結果開示（各科目担当1名） 学生への公開方法については検討中（3）</p> <ul style="list-style-type: none">・授業に係る改善事項については、FDにおいて共有した上で、各担当教員により、次年度実施授業に活かすこととしている。（4）・授業受講環境に関するアンケート結果を踏まえて、三面ガードを廃止することとし、代わりに学生に対して不織布マスクの着用を徹底することとした。（4）

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし
① 体制
a 委員会の設置状況 (5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)
b 委員会の開催状況 (回数や開催日など)
c 委員会の審議事項等
d その他
② 審議状況
a 審議した内容 記入例 ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容 ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況
c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

敬福大学では、社会を俯瞰する視野を持ち、他者との協働のもと、文理の枠を超えた知識やスキルを組み合わせて課題の解決を図り、新たな価値を創り出すことのできる人材を育成し、地域から国際社会まで広く貢献することを目的としている。

そのための教育課程は、SDGsの17のゴールを関連が「2030アジェンダ」で分類した5P(People(人間)、Prosperity(繁栄)、Planet(地球)、Peace(平和)、Partnership(パートナーシップ))を軸とし、様々な学問分野を横断的に学修できるよう、「リベラルアーツ科目」、「基本ツール科目」、「実践英語」による知識・スキルの「修得」と、「課題解決演習(PBL)」と「体験・実践プログラム」による「実践」を、学生の課題意識や学修状況に応じて履修し、学士力を培い、卒業認定・学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に定めたコンピテンシー(資質・能力)を身に付けられるような体系となっている。

現時点において、既に1年次のSpringクォーターとSummerクォーターの半年間で行われる「Intensive English Program(英語集中プログラム)」もスタートしており、英語で授業を受けられるレベルの実践的な英語力の修得を目指し、教育・研究活動を開始したところである。

また、新型コロナウイルス感染症において感染対策としてオンライン授業を実施し、学生の学びに支障のないよう対応しており、学部が目指す教育の質も担保できている。

教員組織編成においては、専任教員の就任辞退者4名(本人のやむを得ない事情)があったが、後任として5名の専任教員を配置する計画としている。令和2年12月～令和3年1月に実施した公募を含め、4名の専任教員候補者を選考した。当該4名の専任教員候補者については大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受審し、令和3年5月28日に教員資格審査(AC教員審査)の結果伝達があり、4名の後任候補者の職位・科目担当の資格が認められたため、当該科目の授業開始前に採用し、学生の教育・研究の質に支障がないよう迅速に採用手続きに入る。残りの1名については、現在学内で公募実施に向けて調査中であるが、既に令和4年度に開講している科目については、当該科目担当の専任教員(教授)が引き続き指導体制に責任を持つとともに、あわせて兼任教員の追加・補充及び兼任教員の専門性に応じた担当科目の専任等への対応も実施し、現時点においては学生に対して教育上の支障はしていない。しかしながら早急に次年度開講までに後任の専任教員を補充するべく、令和3年度中には後任の専任教員の公募を実施する予定であり、設置計画における教員組織編成計画の確実な履行に努める。

入学者の選抜においては、春入学者の定員80名に対し、86名とほぼ定員通りの入学者を得ることができた。また、学生を迎え入れるにあたり、開学までに、限られた予算の中で施設設備の改修工事を行うとともに、必要となる備品を精査し、調達した。今後は教員や学生の意見を踏まえつつ、改善が必要とみられる施設及び備品については対応を検討していく。

学部・学科の管理運営においては、教員会議を毎月開催することとし、4月に第一回目の会議を終えた。また、各種委員会等もあわせて動き始めたところである。

以上のように、開学から現在までにおいて、設置計画に基づき、設置の趣旨や目的を満たすための教育・研究活動における取り組みや対応を開始した。引き続き、設置計画の確実な履行を推進していく。

(3)

敬福大学では、社会を俯瞰する視野を持ち、他者との協働のもと、文理の枠を超えた知識やスキルを組み合わせて課題の解決を図り、新たな価値を創り出すことのできる人材を育成し、地域から国際社会まで広く貢献することを目的としている。

そのための教育課程は、SDGsの17のゴールを関連が「2030アジェンダ」で分類した5P(People(人間)、Prosperity(繁栄)、Planet(地球)、Peace(平和)、Partnership(パートナーシップ))を軸とし、様々な学問分野を横断的に学修できるよう、「リベラルアーツ科目」、「基本ツール科目」、「実践英語」による知識・スキルの「修得」と、「課題解決演習(PBL)」と「体験・実践プログラム」による「実践」を、学生の課題意識や学修状況に応じて履修し、学士力を培い、卒業認定・学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に定めたコンピテンシー(資質・能力)を身に付けられるような体系となっている。

今年度においても、既に1年次のSpringクォーターとSummerクォーターの半年間で行われる「Intensive English Program(英語集中プログラム)」もスタートしており、英語で授業を受けられるレベルの実践的な英語力の修得を目指し、教育・研究活動を開始したところである。

また、新型コロナウイルス感染症において感染対策としてオンライン授業を実施し、学生の学びに支障のないよう対応しており、学部が目指す教育の質も担保できている。

教員組織編成においては、専任教員の就任辞退者4名(本人のやむを得ない事情)があったが、後任として5名の専任教員を配置する計画としている。令和2年12月～令和3年1月に実施した公募を含め、4名の専任教員候補者を選考した。当該4名の専任教員候補者については大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受審し、令和3年5月28日に教員資格審査(AC教員審査)の結果伝達があり、4名の後任候補者の職位・科目担当の資格が認められたため、当該科目の授業開始前に採用し、学生の教育・研究の質に支障がないよう迅速に採用手続きに入る。既に令和4年4月に開講している科目については、兼任教員の追加・補充及び兼任教員の専門性に応じた担当科目の専任等への対応も実施し、現時点においては学生に対して教育上の支障はしていない。しかしながら早急に次年度開講までに後任の専任教員を補充できるよう引き続き状況を確認していく。なお、令和4年度中には専任教員充足率は100%になる見込みである。

入学者の選抜においては、春入学者の定員80名に対し、80名とほぼ定員通りの入学者を得ることができた。また、学生を迎え入れるにあたり、開学までに、限られた予算の中で施設設備の改修工事を行うとともに、必要となる備品を精査し、調達した。今後は教員や学生の意見を踏まえつつ、改善が必要とみられる施設及び備品については対応を検討していく。

学部・学科の管理運営においては、教員会議を毎月開催している。また、教員と職員が共同で業務を行う各種委員会等も積極的・活動している。

以上のように、開学から現在までにおいて、設置計画に基づき、設置の趣旨や目的を満たすための教育・研究活動における取り組みや対応を開始した。引き続き、設置計画の確実な履行を推進していく。

(4)

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

毎年自己点検・評価はPDCAに沿って実施予定。(3)
毎年自己点検・評価はPDCAに沿って実施予定。(4)

b 公表方法

現在学内で検討中である。(3)
現在学内で検討中である。(4)

③ 認証評価を受ける計画
(専門職大学・専門職短期大学・専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

認証評価を受けるべく方法等については学内で検討中である。(3)
認証評価を受けるべく方法等については学内で検討中である。(4)

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和3年度)

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

◀ aで「有」の場合 ▶

b 公表(予定)時期 ・ 公表後2~3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 ウェブサイトへの掲載 ・ その他()]

◀ aで公表「無」の場合 ▶

d 公表しない理由 []

○ 設置計画履行状況報告書(令和4年度)

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

◀ aで「有」の場合 ▶

b 公表(予定)時期 ・ 公表後2~3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 ウェブサイトへの掲載 ・ その他()]

◀ aで公表「無」の場合 ▶

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに加え、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

必ず、注意事項を読んで報告書を作成してください。

「設置計画履行状況報告書」作成に係る全体の注意事項

提出いただいた報告書に基づき、調査を実施しますので、本報告書は「認可申請書」や「設置届出書」と同様に、事実に即して正確に記すようにお願いします。
なお、本報告書提出後、数値等に誤りがあったとしても原則差し替えは認めません。
提出前に今一度、誤りがないかを確認してください。

＜提出方法＞

1. 本報告は、各担当のメールアドレスにエクセルファイル、PDFファイルをそれぞれ1部添付して提出してください。
2. PDFファイルについては、全ページ通しページを付すとともに、表紙の次に目次を入れてください。

＜作成方法＞

1. 必ず報告年度用の最新の様式を使用して作成してください。
2. 本報告書は、設置計画について、認可又は届出時から報告年度までの履行状況を報告するための様式です。
3. 本報告書は、「設置区分」ごとに作成してください。
※「設置区分」とは、設置時の「基本計画書」の「計画の区分」（「学部の設置」、「学部の学科の設置」等）に記載した区分のことです。
4. 本報告書の全ての項目は、報告年度の5月1日現在で作成してください。
5. 様式中の項目にある注意事項は削除せず、記載したままにしてください。
※エクセルファイルのコメント機能で記載している注意事項等は提出時には削除もしくは非表示にしてください。
6. 該当がない項目については様式を削除せず、「該当なし」と記載してください。
7. 教職大学院、専門職大学、専門職短期大学、専門職学科については、別様式の「補足説明資料」も作成してください。
8. 改元に伴う元号は、適宜更新ください。